

一般社団法人 ヘルスケア・データサイエンス研究所

研究助成 成果 概要 報告書

助成年度	2022 年度
本研究期間	2022 年 12 月 1 日～ 2023 年 7 月 31 日
氏名	城下 彰宏
所属機関名 (助成決定時)	昭和大学医学部内科学講座リウマチ膠原病内科学部門
職位・学位	普通研究生
研究タイトル	母体・小児の薬剤曝露と小児喘息発症との相関関係の評価： JMDC データベースを用いたリアルワールドデータベース 研究
キーワード	薬剤疫学, 小児喘息
研究概要	小児喘息はコモンな呼吸器疾患であり, これまでに小児喘息発症に相関のある因子は多数報告されているが, 逆の因果関係や交絡因子の未調整からバイアスのリスクが高いことが問題となっている. 本研究では母子を紐づけることのできる JMDC データベースを用いて, 交絡因子を多く調整

	<p>した縦断的研究デザインを用いることによって、薬剤曝露と小児喘息発症の間のより頑健な相関関係を評価することを目的とする。曝露は母体・小児のパラセタモール・抗菌薬、母体の制酸薬とし、交絡因子を調整した多変量ロジスティック回帰分析を用いて相関関係を評価する。</p> <p>本研究の社会的意義は、母体・小児の薬剤曝露と小児喘息発症との間に強い相関関係を認めた場合は、臨床現場で不要な薬剤を減らすことにつながるきっかけとなり、強い相関関係を認めなかった場合は、過度に薬剤を控えるプラクティスを防ぐことにつながるきっかけとなることである。</p>
--	---